

備前市事務事業評価表

事務事業名	河川維持管理事業(備前)		コード	担当課係	都市整備課 土木係
			01-03-01-04	担当者	小川 勝巳
事業実施期間	H17		電話	0869-64-1835	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安心で快適に暮せるまちづくり			
	中項目	災害に強いまちづくり			
	小項目	河川改修・砂防施設整備			
	施策	市管理河川の改修整備			

事業について	
目的	部分的な破損や老朽箇所が、決壊、氾濫等の災害の原因とならないよう河川及び雨水排水路の維持管理に努めていく。
対象(誰のために)	経年変化により、破損、老朽化が進む河川及び雨水排水路。
内容	各地区からの要望により、維持修繕箇所を把握し、事業を進めていく。また、危険箇所については早急に対応する。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)	
維持修繕箇所(工請)	11 箇所			
維持修繕箇所(需用費)	43 箇所			
計	54 箇所			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	14,376	国庫補助金等	0	直接事業費		国庫補助金等		
	人件費	3,162	受益者負担	0	人件費		受益者負担		
	合計	17,538	市債	0	合計	0	市債	0	
		一般財源等	17,538	合計	0	一般財源等	0	合計	0
必要人員	0.47	人							
結果指標①	結果指標名	維持修繕箇所							
	結果指標量	54							
	単位	箇所							
	対前年比	—							
結果指標②	事業費	17,538,000	円		円		円		
	単位当たりコスト①	324,778	円		円		円		
	結果指標名	維持修繕箇所							
	結果指標量	54							
	単位	箇所							
	対前年比	—							
	事業費		円		円		円		
	単位当たりコスト②		円		円		円		

事業の成果		
成果指標名	箇所数	式又は説明
成果指標量	17年度	
	54	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	設定できない(緊急な対応が必要な箇所が多いため)	到達目標年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	災害防止には不可欠な事業であるが、後背地(家屋・農地等)への直接的な被災防止効果を十分検討の上、箇所決定をし事業を進めていく必要がある。しかし、緊急な修繕が必要な箇所には早急に対応しなければならない。
評価区分	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	箇所数	結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	投資効果の有効箇所の検討	H15~	降雨時の家屋・農地への直接的な被災防止
妥当性	早急な対応による河川の復旧・修繕	H15~	早急な保全確保・回復

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識  
部分的な河川修繕工事であるが、河川災害を最小限におさえるには不可欠な事業である。近年、護岸の破損等が増えており、これらには緊急に対応しなければならない。

簡易的な修繕については、業者に依頼せず、職員自ら作業している。また、地元地区へ原材料を支給し、労務費は地元負担で事業への協力をして頂いている。

近年予想出来ない局地的な豪雨があるが、河川修繕した箇所は、決壊、越流に対して十分に耐え得るものであった。歴年の河川改修により未改修河川(箇所)が年々減少しているため、後背地への被災が減少している。